



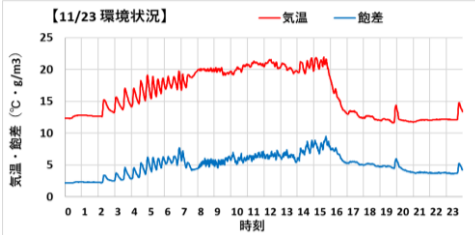
農場通信 2024年 12月号

2024/11/25



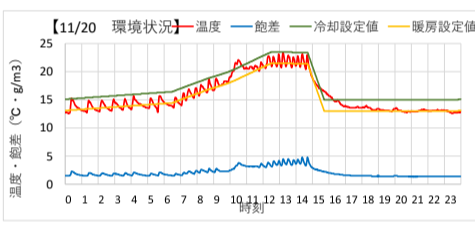
トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 開始日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② ココバッグ栽培展示 バッグ比較試験 ③ 2024/9/9 ④ 2025/7月末



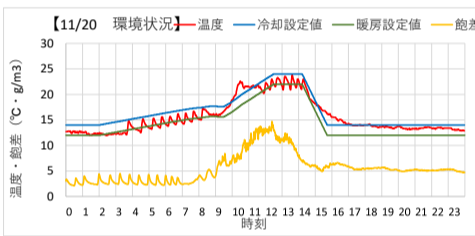
品目	圃場写真①	圃場写真②
栽培中 栽培準備中 今月最終		
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		今月の状況 と 今後の管理

大玉トマト		
		ココバッグ栽培の展示ハウスになります。通常タイプのココバッグと、ココバッグ「ミニ」の比較試験を行います。品種は桃太郎ホープ(台木:アシスト) 9/9定植。 11月下旬現在、1-2段目を収穫中。裂果もあるが今年には落果が例年より目立つ。4段目くらいまでは着果良好だが5-6段目くらいで着果不良の段が目立つ。気温が一気に下がったため、夜間の保温カーテンと日中のCO2施用を始めました。



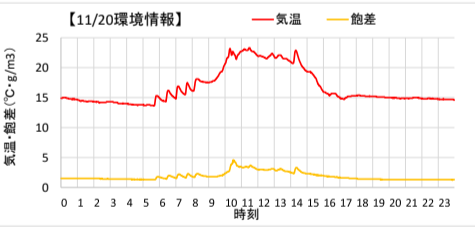
① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2024/7/29 ④ 2025/6月

ミニトマト		
		日中25°C前後、夜間13°C前後で管理。一部、株の黄化等見られたため、ハウス平均温度を18°C以下となるようにし、日射量に見合った温度管理を意識しています。給液ECは2.2まで上げ、しっかり肥料を与えるようにしています。収量の品種差が見られるようになってきました。




① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2024/7/29 ④ 2025/6月

大玉トマト		
		11-13段目が開花しています。10月中旬よりハチを導入しました ECを上げ、樹勢を回復させています。暖房機も本格稼働し始めたので環境変化に気を付けます



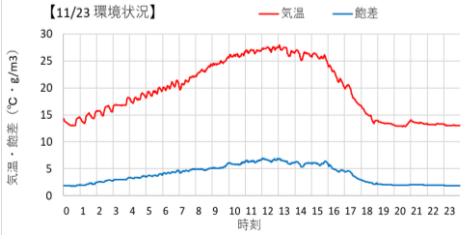
① 第4 D ② バリエーイトトマト品種比較試験 ③ 2024/7/25 ④ 2025/4月

バリエーイトトマト		
		7~9段開花中です。全ての品種で収穫が始まりました ピンクに、オレンジ、イエローとカラフルなミニトマトありますので是非農場にお越しください！！



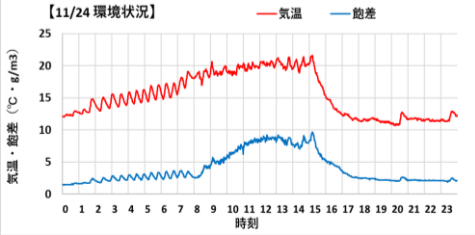
① 第4 E ② イチゴ栽培試験 ③ 2024/7/23 ④ 2025/6月

イチゴ		
		11/20 本葉5~6枚、株200cc給液、給液EC0.5 ミツバチ交配開始、マルチ展張済 全体的に開花が遅れている状況。 章姫、紅しゃとる、はるひ果実肥大中。 紅ほっぺはクラウン温度制御区で開花開始。

① 第4 J ② ココバッグ養液栽培試験品種比較試験 ③ 2024/10/2 ④ 2025/4月末

キュウリ		
		10/2に定植しました。今作はココバッグを使った養液栽培に適する品種比較試験ということで、穂木品種8種類・台木品種4種類を栽培します。 収穫は10月末~始まりました。11月下旬現在で子つるの節数が約30節程度。収量や果形で品種差が見られます。また雌花の数によって草勢も差が出ています。(雌花が多すぎる品種は苦しい) 定植~11月前半までが低日照・高温傾向だったため、やや徒長気味。気温が下がってきたので昼夜温差をしっかりとつけて樹を締めていきます。

① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2024/8/30 ④ 2025/7/1

高糖度ミニトマト		
		ミニトマトの高糖度栽培での品種比較試験を行います。 培地はココバッグ、肥料はオリジナルの高糖度用単肥処方を使用します。 台木はアーノルドで統一。穂木品種は6種類です。定植後、ECは2.0からスタートし、現在5.0程度。昨年はこの時期であれば高糖度に仕上がっていましたが、今作は特に夜温が高かったため、樹を絞り切れず、未だ糖度は8.0程度です。今後はしっかりと昼夜温差をつけ、給液量も少し減らして高糖度の樹姿に仕上げたいと思います。





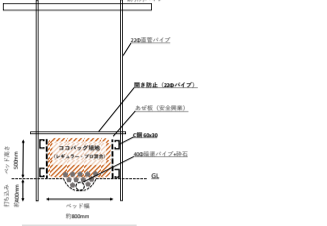
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp



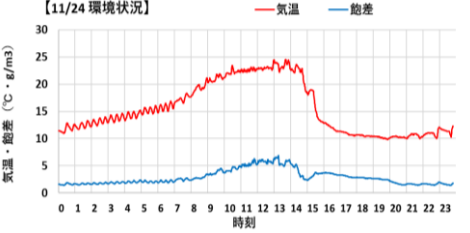
① 第6 ② キャベツ品種比較試験 ③ 2024/8月~ ④ 2024/11月~

キャベツ		
<p>【作型一覧】</p> <p>冬系1作目 7月26日播種 8月18日定植 冬系2作目 8月1日播種 8月27日定植 冬系3作目 8月8日播種 9月6日定植 冬系4作目 8月20日播種 9月14日定植 冬系5作目 8月23日播種 9月17日定植 春系1作目 8月23日播種 9月17日定植</p>		<p>冬系5作型 春系1作型（詳細は左記のとおり）</p> <p>本来は1作目2作目が11月末までに収穫できているはずですが、夏の高温の影響か全体的に外葉が出来ておらず、仕上がりが大幅に遅れています。1作目は12月初旬頃に仕上がりが予定（約3週間遅れ）作型4あたりからは生育順調です。未だに害虫による食害と一部で黒腐れ病も見られるため、もう少し葉散を継続します。</p>

① 第3 M ② アスパラガス柵板式高畝栽培試験 ③ 2023/6/2 ④ 周年

アスパラガス		
		<p>アスパラの「柵板式高畝栽培」の実証試験。柵板で隔離したベッドにココバグの中身を入れて養液栽培をします。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類栽培しています。</p> <p>収穫は11月下旬で概ね終了しました。品種により収量の違いや、品質の違いがしっかり出ています。今後は地上部が黄化したら刈り取りを行い、次の収穫開始は2月中下旬頃を見込んでいます。</p>

① 第8 ② 『持続可能な施設園芸』実証試験 ③ 2024/9/2 ④ 2025/7月末

大玉トマト		
<p>【11/24 環境状況】</p> 		<p>サステナブル・グリーンハウス『持続可能な施設園芸』実証試験と題して、減農薬・肥料削減・脱炭素を目標とした各種取り組みを行います。</p> <p>減農薬⇒天敵・防虫ネット・捕虫シート等を組み合わせたIPM 肥料削減⇒排液リサイクルシステムを使った栽培実証 脱炭素⇒暖房の排ガスからCO2を分離して再利用</p> <p>定植は9/2に行いました。品種は「かれん」になります。現状はタバコカスミカメによる防除が順調で、農薬使用量は大幅に減少。排液循環による栽培も特に問題なく順調です。</p> <p>12月に各種試験の見学会を計画しています！</p>

① 第7ハウス ② 産直向け品目 ③ 2024/10月中旬 ④ 2025/03頃

産直品目		
<p>10月中旬より定植と播種を行いました</p>		<p>春菊、ホウレンソウなどの葉菜類を中心に見頃を迎えています。根菜類や芽キャベツ、キャベツなどは年明けの見頃を予定しています。</p>

① 第2 ② ブロッコリー品種比較試験 ③ 2024/9月上旬 ④

ブロッコリー		
<p>1作目 8月5日播種 9月5日定植 2作目 8月16日播種 9月10日定植 3作目 8月20日播種 9月13日定植 4作目 8月25日播種 9月20日定植 5作目 8月30日播種 9月25日定植 6作目 9月10日播種 10月5日収穫 7作目 9月20日播種 10月17日定植</p>		<p>1作目、3作目で収穫が始まっています。</p> <p>気温も下がり害虫は落ち着きそうなので、殺菌剤を中心に防除を行います。</p> <p>モグラ除けに、風車を設置しました。地面に伝わる振動による忌避効果を期待しています。</p>



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
 愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
 URL <https://www.toyotane.co.jp/>
 E-mail info@toyotane.co.jp